



公開ワークショップ 神経科学と心理言語学

日時：2015年2月14日（土）-15日（日）

場所：九州大学箱崎キャンパス・文学部棟①・4階会議室

主催：九州大学文学部言語学・応用言語学研究室 矢野 雅貴

2月14日（土）

13:30-13:40

開会の挨拶：小野 創（津田塾大学）

13:40-14:25

カフラマン バルシュ・広瀬友紀（東京大学）

日本語の関係節及び分裂文の処理に関する一考察

—眼球運動測定実験及び自己ペース読文実験の結果に基づいて—

14:25-15:10

矢野 雅貴（九州大学大学院）

Semantic LAN 現象と文理解モデル

<休憩>

15:25-16:10

新国 佳祐（東北大学大学院）

事象関連電位を指標とした日本語埋め込み節の処理についての検討

16:10-16:55

Yingyi Luo, Yunzhu Wang, Satoshi Ito, & Hiromu Sakai
(Hiroshima University)

It snows because it is cold, or it is cold because it snows:

The neural evidence of order processing in causal inference

<休憩>

17:10-17:55

杉本 史恵（九州大学）

視覚課題の難度が聴覚逸脱刺激に対する注意の捕捉に及ぼす影響

19:00-

懇親会@箱崎周辺

2月15日(日)

10:00-10:30

安永 大地 (金沢大学)

光検出装置を用いたトリガータイミングの補正方法について

10:30-11:00

広瀬友紀・小林由紀・伊藤たかね (東京大学)

日本語アクセントの演算処理違反 vs. 語彙規則違反

<休憩>

11:15-12:00

荒生 弘史 (大正大学)

継時 vs. 同時呈示からみた 2 語文の処理

12:00-13:00

昼食休憩 + 記念撮影会

13:00-13:45

中野 陽子 (関西学院大学)

英語の関係節付加曖昧性解消への先行文脈情報の効果について

13:45-14:15

諏訪園秀吾¹・植野美枝子² (¹独立行政法人国立病院機構沖縄病院神経内科, ²University of California, San Diego)

英語を母語とする比較的軽症なパーキンソン病患者における P600

14:15-14:45

諏訪園秀吾 (独立行政法人国立病院機構沖縄病院神経内科)

当院における脳波研究の展望：脳波を用いた臨床と研究の現在と未来

14:45-15:00

閉会の挨拶：矢野 雅貴 (九州大学大学院)

お問合せ先：

九州大大学・文学部・言語学研究室 矢野雅貴

masayano[[@](mailto:masayano@kyudai.jp)]kyudai.jp, 092-642-2415